

中部保健所管内 感染症発生動向調査情報

2023/7/3 ~ 2023/7/9

発令中の警報／注意報	県全体	<警報> なし	<注意報> なし
	各保健所	警報 中部保健所： なし	注意報 中部保健所： なし 宮古保健所： A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

・現在、中部保健所管内で警報、注意報はでていません。

『RSウイルス感染症が増加しています!』



◎RSウイルス感染症について

RSウイルス感染症は乳幼児に多くみられる呼吸器の感染症です。例年、秋から冬にかけて流行していましたが、近年では7月頃より報告数の増加が見られるようになりました。

生後6か月未満の乳児、早産・低出生体重児、先天性心疾患や慢性肺疾患、ダウン症、免疫不全症などを有する感染者の場合、重症化するリスクが高まります。

◎症状について

主な症状は発熱、鼻水、咳、のどの痛みです。

***咳の悪化や喘鳴（呼吸をするときにヒューヒュー、ゼーゼーと音がすること）呼吸困難症状がみられた場合には早めの受診をお願いします。**

◎感染対策について

感染経路は飛沫感染と接触感染です。感染対策として呼吸器症状がある方と乳幼児の接触を避けること、マスクを着用するなどの咳エチケットが有効です。また、子どもたちが日常的に触れるおもちゃや手すりなどをこまめにアルコールなどで消毒すること、流水と石鹸による手洗いが重要です。

沖縄県ではマスコミ向けに、RSウイルスについての情報発信を行っています。詳しくはこちらをご覧ください。

■ 感染症の発生動向 1類～5類（全数把握）

		県全体	うち中部
1類	なし		
2類	結核	5	1
3類	なし		
4類	レプトスピラ症	2	0
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	3	2

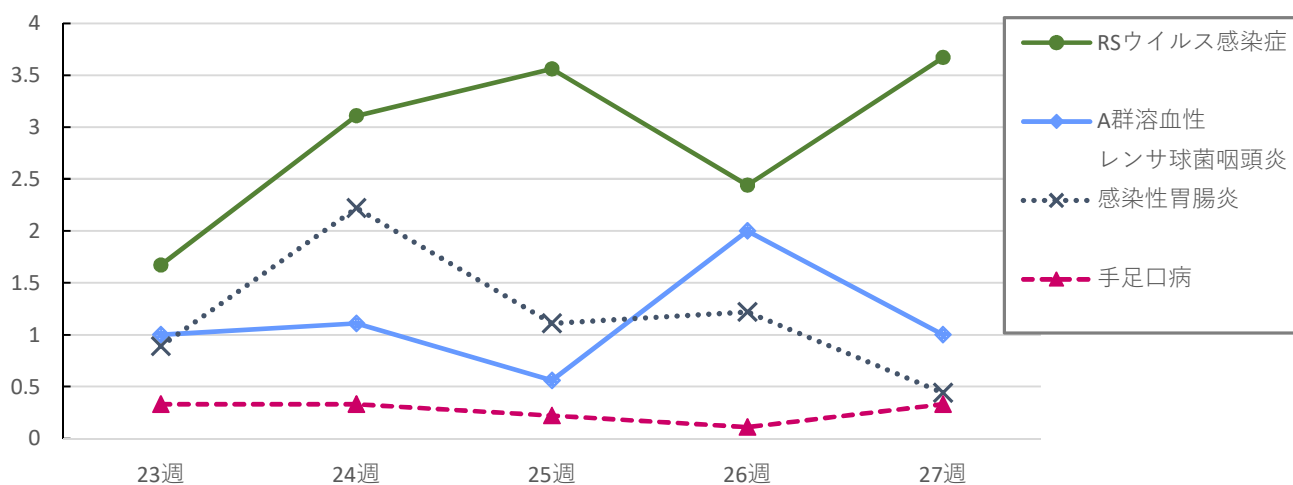
■ 感染症の定点当たり報告数

※直近5週間で報告された感染症のみ

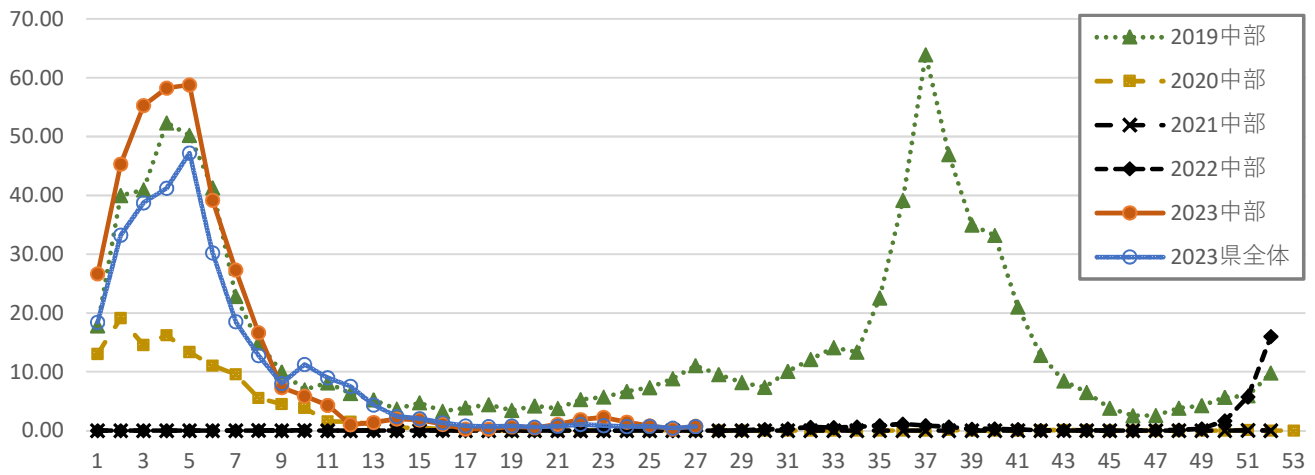
	23週		24週		25週		26週		27週	
	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県
インフルエンザ	2.25	0.83	1.44	0.7	0.81	0.72	0.25	0.44	0.75	0.7
RSウイルス感染症	1.67	1.97	3.11	3.16	3.56	4.35	2.44	4.42	3.67	4.84
咽頭結膜熱	0	0.45	0.33	0.23	0.56	0.32	0	0.03	0.33	0.35
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	2.06	1.11	2.16	0.56	1.42	2	2.03	1	2.13
感染性胃腸炎	0.89	3.32	2.22	2.94	1.11	2.58	1.22	2.13	0.44	1.74
水痘	0	0	0	0.16	0.22	0.06	0	0.06	0	0.06
手足口病	0.33	0.74	0.33	0.71	0.22	0.48	0.11	0.23	0.33	0.26
突発性発疹	0.22	0.26	0.11	0.26	0.22	0.16	0.44	0.19	0.44	0.23
ヘルパンギーナ	0.11	0.45	0	0.23	0.22	0.45	0	0.74	0	0.61
流行性耳下腺炎	0.11	0.06	0.11	0.13	0.11	0.03	0	0.06	0.33	0.13
流行性角結膜炎	0	1	0	0.63	0	1.38	0	1	0	0.88
細菌性髄膜炎（真菌性含む）	1	0.29	0	0	0	0.14	0	0	0	0.14
無菌性髄膜炎	0	0.14	0	0.14	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0.14	0	0
COVID-19	18	18.41	23.63	28.74	37	39.48	42.13	48.39	40.06	41.67

警報 **注意報**

■ 中部保健所管内の直近5週間の主な感染症の推移（10万人当たり患者数）



■ インフルエンザの過去5年の発生動向



■ 新型コロナウイルス感染症
※五類移行後の定点あたり報告数

